

再評価結果(平成21年度事業継続箇所)

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道460号 臼井橋		事業区分	一般国道	事業主体	新潟市
起終点	新潟県新潟市秋葉区子成場(起点)～新潟県新潟市南区臼井(終点)			延長	1.6km	
事業概要						
<p>一般国道460号は、新潟県新発田市を起点とし、新潟県柏崎市に至る幹線道路である。</p> <p>臼井橋は、現道の幅員狭小、線形不良及び潜橋を解消と新潟市秋葉区から南区間の交通混雑の緩和を図るとともに災害発生時の緊急輸送道路として位置づけられている道路である。</p>						
昭和60年度事業化		(都市計画決定なし)		平成3年度用地着手		平成7年度工事着手
全体事業費		90億円		事業進捗率		68%
計画交通量		8,800台/日		供用済延長		0.3km
費用対効果 分析結果	B/C	総費用 (残事業)/事業全体		総便益 (残事業)/事業全体		基準年
	(事業全体) 1.0	25/109 億円		101/111億円		平成20年
	(残事業) 4.0	事業費：24/107億円 維持管理費：1.4/1.7億円		走行時間短縮便益：86/94億円 走行費用減少便益：11/12億円 交通事故減少便益：4.1/4.7億円		
感度分析の結果						
<p>交通量変動：B/C=4.4(交通量+10%) B/C=3.6(交通量-10%)</p> <p>事業費変動：B/C=3.7(事業費+10%) B/C=4.5(事業費-10%)</p>						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域ネットワークの構築・・・現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する 災害への備え・・・対象区間が緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけあり <p style="text-align: right;">その他10項目に該当</p>						
関係する地方公共団体等の意見						
<p>関係する市(新発田市, 阿賀野市)は「国道460号線整備促進期成同盟会」や地元自治会等は「国道460号線小合バイパス開通促進協議会」を組織し、整備促進に関する活動を行っている。</p>						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
<ul style="list-style-type: none"> 第3回新潟都市圏パーソントリップ調査において周辺市町村連絡道路として位置づけられている。 平成16年10月に新潟市南区臼井地内の一部区間(0.3km)が供用。 平成19年4月1日新潟市政令市移行に伴い事業主体変更(新潟県→新潟市)。 						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地買収は完了済み。0.3kmを部分供用済み。残事業は1.3km。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
現在は残事業区間の用地は取得済みであり、信濃川に架かる橋梁部と取付道路の工事を推進しており、平成20年代後半の事業完了を目指す。						
施設の構造や工法の変更等						
橋梁部を両側歩道から片側歩道への変更を行いコスト縮減に努めている。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	<p>本事業の現道部及び隣接する橋梁はすべて潜橋であることから、防災上重要な事業である。</p> <p>このような事業の必要性や事業の進捗の見込みの視点から、継続が妥当であると判断した。</p>					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。